

# 宮永岳彦記念美術館だより

2017 6月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館

〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2 TEL / FAX 0463-78-9100



## 常設展示室

## 市民ギャラリーのご案内 入場無料

### 宮永岳彦 悠久の美

2017年3月15日(水) ← 9月18日(月・祝)

∞ 展示作品より今月の一点 ∞

《 鹿鳴館 翔 》



この作品のモデルは、キャロルというアメリカ人で、宮永は1972(昭和47)年の民族衣装《YUGOSLAVIA 宴》制作で初めて会っています。

彼女との出会いが宮永に古典への追求を意識させ、以後5年間彼女が帰国するまで、全作品のモデルを依頼しました。

宮永が彼女に似合う衣装を探している時に見つけたのが鹿鳴館時代の服装でした。当時上演された三島由紀夫の戯曲『鹿鳴館』に触発されたようです。宮永は近代日本の欧化政策の象徴である鹿鳴館の時代を、舞踏会の衣装に着物生地を使用するなど、独自文化をつかった魅力ある時代と捉え、華麗な衣装をまとった美しい女性像を描いていきました。

この「鹿鳴館シリーズ」は生涯探究するモチーフとなり、宮永芸術がさらに躍動する大きな転換点になった記念すべき作品です。

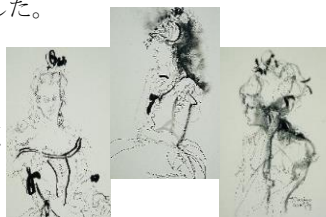
油彩画 1973年 60F

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)  
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

### 悠久の美展より ♪ 美人画 素描 ♪

宮永は、画家にとって木炭や鉛筆などを使って彩色をつけずに描く素描(デッサン)は、単なる下絵ではなく絵画の基礎であると考え、50年以上にわたる創作活動において終生デッサンに取り組みました。

特に、人物は最も身近な題材であり、モデルに外国の女性を多く描いたのは日本人には無い、毛髪の細く繊細で柔らかな感触の中に踊る美しさを見出したからだそうです。



### 秦野写真連盟 第15回写真展

6月6日(火)~6月11日(日)

10:00~17:00 初日13:00から 最終日15:30まで

秦野写真連盟会員の1年間の成果を発表いたします。風景・動物・スナップなどバラエティに富んだ作品展示。

### 写楽クラブ 第8回写真展

6月13日(火)~6月18日(日)

10:00~17:00 初日13:00から 最終日16:00まで

会員の個性を發揮したそれぞれのショット、約50点を展示いたします。

### Wave絵画ファミリー展

6月20日(火)~6月25日(日)

10:00~17:00 初日13:00から 最終日17:00まで

想像して絵画にしたり、手近なものを利用して作品を作る楽しさを味わう日常を豊かに過ごしたいと感じます。

### 志村洋裁教室 作品展

6月27日(火)~6月29日(木)

10:00~15:00 初日12:00から 最終日15:00まで

ウェディングドレスや着物地から洋服へ、普段着からおしゃれ着まで、多くの作品を展示しています。

### 2017.7月 市民ギャラリー展覧会の予定

写団薬師秦野教室 写真展(仮)  
7月4日(火)~7月11日(火)

KEI押し花倶楽部(仮)  
7月14日(金)~7月17日(月・祝)

アトリエ KAWADO 絵画、創作展示(仮)  
7月20日(木)~7月23日(日)

※6月1日(木)より2017年12月分までの予約を受け付けています。



6月の休館日: 5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641